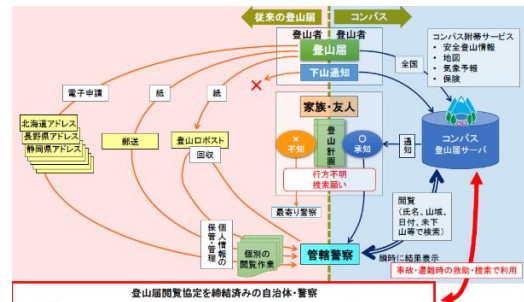


**428 遭難者の迅速な救助につながるための登山届のオンライン化**

取組主体【掲載年】	法人番号	事業者の種類【業種】	実施地域
公益社団法人日本山岳ガイド協会 【平成 29 年】	9011105005354	その他事業者 【サービス業（他に分類されないもの）】	長野県

- 山岳ガイドの養成、認定、研修を行う公益社団法人日本山岳ガイド協会は、登山計画を作成・登録することで、仲間や家族、団体等間で共有するとともに、自治体等とも情報共有することで登山届にもなるインターネットサービス「Compass（コンパス）」を開発した。平成 25 年 7 月、同協会は長野県警本部山岳救助隊と協働し、長野県内において、従来の書面での登山届とコンパスとの併用に運用変更した。安全登山の啓発活動及び山岳遭難への対応迅速化を同協会は図っている。



▲従来の登山届と「コンパス」の比較

- 登山者は同システムに氏名、住所、登山ルートを登録する。サーバを介して、県・管轄警察や家族・友人が登録情報を確認でき、事前に登録した緊急連絡先に登山計画や下山情報がメールで通知される。これにより、万が一、登山者が遭難しても、登録情報を迅速な救助に役立てることができる。
- 同協会では、登山者や自然探訪者の安全性向上のため、火山等の自然災害に関する避難勧告、気象情報を配信できる環境を整備している。また、山岳エリアの情報伝達手段の拡充のため、山岳 Wi-Fi やスマート道標を設置し、登山者が携行する通信機器を活用した安全対策サービスを提供している。